

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：男女共同参画推進費

事業名	新 女性活躍推進調査実施費
------------	----------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課 男女共同参画係

電話番号：058-272-1111 (内 2423)

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,200 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,200	0	0	0	0	0	0	0	2,200
決定額	2,200	0	0	0	0	0	0	0	2,200

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・急速な少子高齢化に伴う労働力不足が懸念される中、「我が国最大の労働力」である女性の力を最大限に発揮し、職業生活における活躍を推進するため、「女性活躍推進法」がH28年に全面施行された。
- ・本県では、「女性活躍推進法」に基づく「清流の国ぎふ女性の活躍推進計画」を策定(計画期間：H28～R2)。女性の多様な生き方を尊重しながら、女性がさらに活躍できるよう、女性が仕事と子育てや介護等を両立できる環境の整備などを進めてきた。
- ・今年度終期を迎える本計画の改定に向け、R元年度に女性活躍推進調査を行ったところだが、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会情勢の大きな変化が想定されることから、withコロナ社会のニーズに合った施策を次期計画に反映させるため、本計画の計画期間を延長した。
- ・県内企業等における女性の活躍の取組状況や課題やニーズを改めて分析するため、R3年度に女性活躍推進調査を実施する。

(2) 事業内容

- ・調査期間 令和3年7月頃
- ・調査対象 県内企業2,000社、調査対象企業の女性従業員2,000人
- ・調査票の配布・回収 郵送による
- ・設問構成 女性の活躍推進への考え方、女性活躍の取組状況、女性の継続就労や管理職登用への意識、女性の活躍を推進するうえでの課題、県への要望 など

(3) 県負担・補助率の考え方

国の地方創生推進交付金（補助率1/2）を活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,902	調査業務委託（調査票発送・入力・集計、分析、報告書製本）
役務費	279	通信運搬費
消耗品費	19	発送用封筒、その他
合計	2,200	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

(2) 誰もが活躍できる社会 ①性差に関わらず活躍できる社会の確立

(2) 国・他県の状況

近隣9県中、3県において類似事業の実績あり

(3) 後年度の財政負担

推進計画の改定に合わせて実施

(4) 事業主体及びその妥当性

県独自調査のため、県が事業主体となる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
調査結果を次期「清流の国ぎふ女性の活躍推進計画」に反映し、女性の多様な生き方を尊重しながら、女性がさらに活躍できるよう、性別による役割分担意識の解消やあらゆる分野における女性の参画拡大を進めるとともに、女性が仕事と子育てや介護等を両立できる環境の整備などを推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 (直近調査時点)	目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

推進計画に女性の活躍推進に係る数値目標はあるものの、調査自体に目標値・成果はないため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<p>本県においても、急速な少子高齢化に伴う労働力不足が懸念される中、「我が国最大の労働力」である女性の力を最大限に発揮し、職業生活における活躍を推進する必要がある。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響による県内企業等のニーズの変化を分析し、次期計画に反映する必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>「清流の国ぎふ女性の活躍推進計画」の改定に合わせて、県内企業の状況を把握し、必要な施策を推進計画へ盛り込んでいく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	